

ごあいさつ

谷本 智昭
同窓会会长

香友会だより

行者
香川県立高松南高等学校
長谷本智昭
同窓会会長
香川印刷所

姿を見せる期待しながら、そ
の時を待ちたいと思つております。
さて、昨年度は本校の部活動が大
活躍した一年でした。ソフトボール
部、相撲部、バレー部、水球
部、サッカー部がインターハイ出場、
剣道、ハンドボール部は四国大会出
場、文化部においても、吹奏楽部、
書道部、写真部、環境科学部などが
素晴らしい成績を残しました。運動
部の全国大会出場に当たつては、香
友会の方々から多額のご寄附を賜り
ましたこと、この場をお借りしまし
て心より御礼申し上げます。今年も、
各部とも昨年度以上の成績を出すべ
く、毎日遅くまで練習に打ち込み、
厳しい練習を続けております。しか
し部活動を通して身に付けてもらい
たいものは、その技術の向上と勝利
する喜びだけではなく、規範意識の
育成、さらには心の育成であります。
最近、トップアスリートの不祥事が
報道を賑わせておりますが、本校生
徒には、文武両道と言われるとおり、
心技体のすべてを部活動を通じて育
んでいただきたいと願つております。
今年も、いよいよ総合体育大会を皮
切りにいろいろな大会が始まります。
徒輩たちの活躍を是非、応援して頂
きますようお願い申し上げます。

香友会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より香友会並びに母校のためにご理解とご尽力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、母校は建物の老朽化に伴う全面的な改築工事が始まり、第一期工事が終了しました。今年四月から新校舎での授業が始まっています。私が入学式に出席した折、正面玄関から見ると、新校舎は重厚でアカデミックな雰囲気を醸し出す建物と映りました。まるで大学のキャンパスを髪飾りとする風景です。中央棟には時計台が設置され、一階は広い空間のピロティ、二階にはゆったりとしたテラスがあり、安らぎを感じます。将来を見据えた素晴らしい校舎が完成していました。これからも第二期工事が続くようです。

この校舎改築に伴い、移設を余儀なくされたヒマラヤスギですが、二

本のうち一本は記念庭園に移植しています。もう一本は学校側のご配慮で有効活用され、百年の歴史を刻んだ年輪板やベンチに加工されています。ベンチの天板も予想以上に大きくなり、母校創立当初に植えられたヒマラヤスギ百年の歴史の重みを感じた次第です。

また、昨年末には同窓会にとつて大変名誉で嬉しいニュースがありました。サッカーチームが三十四年ぶりに全国大会に出場するという快挙です。学校側の話では、試合は十二月三十一日で千葉県が会場、経費はかかるが応援バスも考えたい意向でした。

この時こそ同窓会が支援する出番であると考え、急いで十一月十九日に最初の理事会を開催し、募金活動をすることに決定しました。時間がなければ郵便振り込みでお願いすることにしました。

本当に短い期間でしたが、多くの会員の皆様方からご芳志を賜り、母校サッカーチームの全国高校選手権大会派遣がお陰で無事終了できました。同窓会も会員のご協力で支援の一翼を担えたことは嬉しい限りです。改

めでこの場をお借りして関係者の皆様方に感謝と御礼を申し上げます。選手たちもよく健闘しました。今回のような大きな大会に挑んだ経験は今後の活動に活かせると思います。監督さんはじめ関係者の皆さん大変ご苦労様でした。

尚、募金活動には、同窓会のほかPTA、サッカーチーム保護者会、サッカーチームOB会、現職教職員、学校当局等がそれぞれ協力されましたことを申し添えます。

最後に、会員皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げごあいさつといたしました。

ごあいさつ
校長 正司

香友会の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。この度人事異動により、高松南高校校長

現在、新しい校舎では、環境学科、看護科、普通科の一部と専攻科の生徒が学んでおります。残念ながら、普通科のほとんどのクラスと生舍で学習しておりますが、机や椅子など、できるだけ新調して、新鮮な気持ちで学習できる環境を整えたところです。四月からは、第二期工事に備えて、旧校舎の解体工事が始まりました。騒音や工事車両の通行など、また生徒に不便をかけること

が気かりですが、来るべき三年後、県内屈指の堂々たる校舎の全体像が

去る4月17日、本校元校長の廣瀬忠明様が83歳でご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。